



杉山 琴珀 (Kohaku Sugiyama) 委員

戸板女子短期大学 国際コミュニケーション学科 学生

語学力を身につけられる大学を探し戸板女子短期大学を見つけ、決め手となったのがオープンキャンパスで出会った先輩方に憧れ、戸板女子短期大学に入学。入学後、英語や中国語、韓国語を学び、韓国短期研修に参加、修了。学内の異文化交流プロジェクトに参加し、大使館、米軍基地訪問、ボランティアに参加。現在学生消防団に所属。

共生社会の実現

学生代表 杉山琴珀

自己紹介

戸板女子短期大学 在学
服飾芸術科 食物栄養科 国際コミュニケーション学科
エアライン ホテル・ブライダル・ツーリズム 経営・ビジネス 医療事務
異文化交流プロジェクトにて大使館・米軍基地へ訪問
韓国短期研修 参加
芝消防署の学生消防団 在団

現在の問題点

1. 情報格差
2. 言語の壁
3. 防災意識の低下

3

現在の問題点

1. 情報格差
2. 言語の壁
3. 防災意識の低下

4

情報格差 情報通信技術を使える人と使えない人の間に生まれる「差」

	高齢者	若者
特徴	スマートフォンの操作が困難 情報収集はテレビや新聞	小学校からインターネットに触れている 情報収集はインターネット、スマートフォン
影響	緊急時の伝達が遅れる 世間からの孤立	スマートフォンで完結してしまい、PC操作が困難 誤った情報を認識

5

現在の問題点

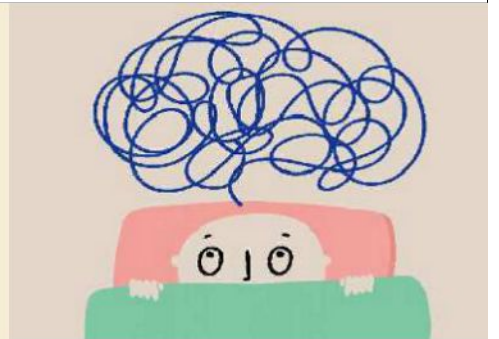
1. 情報格差

2. 言語の壁

3. 防災意識の低下

6

言語の壁



勉強している

会話すると

続かない
流暢に話せない

7

現在の問題点

1. 情報格差
2. 言語の壁
3. 防災意識の低下

8



“これくらいなら大丈夫でしょ”

9

将来の課題・2040年代に向けて

1. 情報格差をなくす
2. 言語の壁を超える
3. 防災意識を向上・若者の関心を増やす

10

情報格差をなくすには

体験型でITを学ぶ

例

- ・スマートフォンやPCを使用して物を作成
- ・若者が教え、コミュニケーションの場を作る

11

言語の壁を越えるには

コミュニケーションの場

例

- ・学生会館の設置
- ・交流イベントの内容を参加者同士で企画

12

防災意識を**向上**・若者の関心を**増やす**には

学校や大学での取り組みを強化

例

- ・被災者の声を聴く
- ・認知を広めるために施設に行き訓練の援助

13

まとめ

	情報格差	言語の壁	防災意識
課題	情報格差をなくす	言語の壁を超える	防災意識の向上 若者の関心を増やす
期待すること	体験型ITイベント企画・実施	学生会館の設置 自発的に取り組むイベント開催	学校や大学で取り組みを強化 消防団の活動範囲の拡大

14

ご清聴ありがとうございました

15

